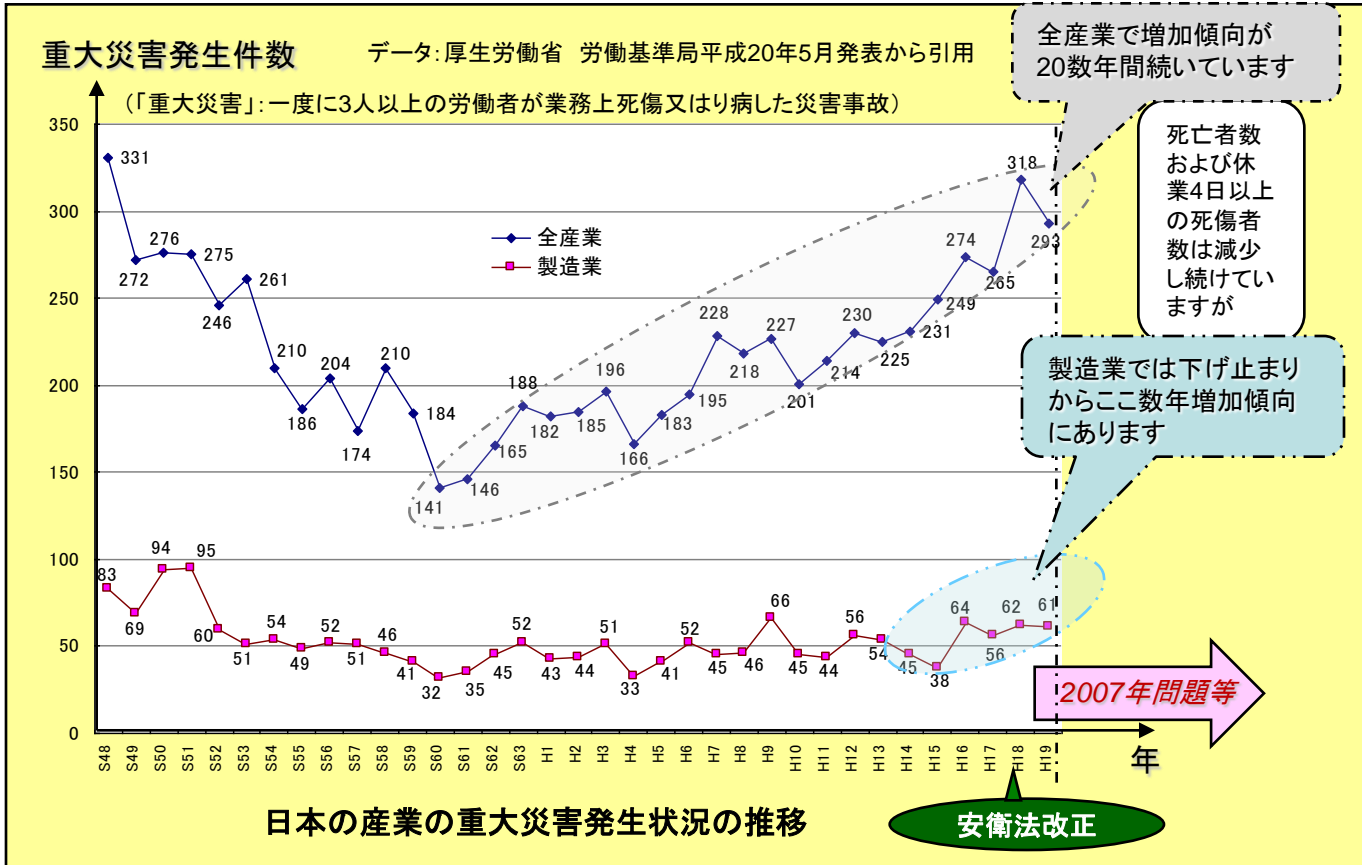


目次

| | |
|---------------------------------------|----|
| I. なぜ今IT活用なのでしょうか？ | 1 |
| II. IT活用は従来の安全衛生管理とどんな関係にあるのでしょうか？ | 2 |
| III. 管理的対策で困っていることは？(ITで支援できそうなこと) | 3 |
| IV. IT活用の狙い目は？ それでリスク低減はできるのでしょうか？ | 5 |
| V. IT活用の新安全衛生管理手法の全体像 | 6 |
| VI. ITにはどんなものがあるのでしょうか？(機能イメージとIT機器例) | 7 |
| VI-1 「データベース」 | |
| VI-2 「情報伝達」 | |
| VI-3 「識別・位置等検出」 | |
| VII. 現場課題に応じたIT応用システムの例 | 10 |
| VIII. IT導入検討のすすめ方 | 11 |
| IX. IT機能検討の進め方 (『導入ガイド』の概要) | 12 |

I. なぜ今IT活用なのでしょう？



労働者を取り巻く状況の大きな変化

- ①雇用の流動化、就業形態の多様化、設備の自動化・省力化・集約化、アウトソーシング進展等による混在作業の増加、外国人労働者の増加
- ②新規採用の絞込みによる若手人材の不足、団塊世代の2007年以降の大量退職

現場における安全衛生水準低下

- ①現場の実情を踏まえた安全管理のノウハウ消失
- ②労働者の熟練度の相対的な低下
- ③体系的な教育の困難化
- ④担当範囲の拡大・多能工化
- ⑤一人作業の増加
- ⑥技術のブラックボックス化
- ⑦危険情報の伝達・共有化の困難化

労働災害発生
の可能性

以上の状況から、これまでの努力に加え何らかの新たな安全衛生管理の取り組みが必要であり、その一つとして技術進展著しいITの活用をここでは考えてみましょう。